

松山支部

松山支部では、松山市教育委員会から委託を受け、「小学校情報教育研究委員会」及び「中学校情報教育研究委員会」を組織して、情報教育の研究を推進してきた。研究委員会は、市内各小・中学校情報教育担当教員及び研究員と松山市教育委員会担当者と組織している。

また、小・中学校合同での情報教育研究委員会の開催や、グループウェア（ミライム）開発のための検討会、近隣の小・中学校での授業研究会の開催など、小・中間の連携を図る取組を進めている。

1 教員研修について

小学校情報教育研究委員会が中心となり、平成 17 年度から、「情報教育研修会」を8月上旬に開催している。毎年 100 名以上が参加する大規模な研修会となっており、研究委員会の中心的な活動に位置付けられている。また、この研修会は、放送大学教授中川一史氏を講師として毎年招き、最新の情報教育に関する情報や理論を教授していただいている。また、中川氏が主催するメディア表現研究会（D-project2）からの協力を得てワークショップを開催するなど、充実した研修プログラムを組むことができ、毎年好評を得ている。今年は、松山市の視聴覚主任会にも分科会を担当してもらうなど、広い視野で情報教育をとらえた研修を行った。

今年度の情報教育研修会は以下のとおりである。

(1) 日 時 平成 25 年 8 月 1 日（木） 9:30～16:00

(2) 場 所 愛媛大学、東雲小学校

(3) 内 容

ア 全体会

(ア) 実践事例セッション

「思考の共有化をめざす ICT 活用」～デジタルとアナログを効果的に組み合わせて～

講師：金沢星稷大学 佐藤幸江教授

「ユニバーサルデザインと ICT の特性を生かした授業の創造」

発表者：松山市立石井北小学校 菅野智雄教諭

(イ) 総括セッション

コーディネーター：放送大学 中川一史教授

パネリスト：金沢星稷大学 佐藤幸江教授

松山市立石井北小学校 菅野智雄教諭

イ 分科会

A：使ってみよう！「コラボノート」

B：i-Pad で協働的な学びを考えよう

C：身近な機器を使って、手軽で効果的な授業をデザインしよう！

D：自作ビデオ教材を作ろう

中学校では、今年度も夏季休業中に指導者研修会を実施した。(株)アイ・エヌ・エスの研修担当者より、まずこの夏季休業中に導入された機器についての説明があった。また、ともに導入された「ジャストジャンプ5 ～つたわるねっと Teen's～」を有効活用するための方法や機能の紹介が行われた。さらに、タブレットPCの接続方法や使い方などを検証したあと、市教委から提案された「パソコン教室タブレット化」についての意見交換が行われた。

(1) 日 時 平成 25 年 8 月 28 日（水） 9:00～12:00

(2) 場 所 松山市立桑原中学校 コンピュータ室

(3) 内 容

ア 現在導入のソフトの活用方法について

イ 新規導入した情報機器（タブレットPC）等の活用について

ウ 情報交換その他

また、情報教育研究委員会の先生を各学校に派遣し、校内研修の手伝いをするという取組も夏季休業中に行った。市内の数校から申し込みがあり、のべ6人を派遣した。

この他、松山市中学校の全教職員の中から希望者を募り、「ICT活用基礎講座」を開設した。開設された講座は以下のようなものであり、少人数ではあったが、コンピュータを苦手とする教員のサポートができる貴重な研修となった。

- ア Word の基礎
- イ PowerPoint の基礎
- ウ Excel の基礎
- エ パソコン教室・周辺機器の使い方
- オ 校内 LAN やミライムについて
- カ Excel の活用

2 授業研究会について

小・中学校の情報教育研究委員が参加し、小・中学校別に授業研究会を実施した。今年度は、雄郡小学校・桑原中学校で以下のように授業研究会を行い、研究協議・意見交換等を行った。小・中学校での情報交換も行うことができ、有意義なものとなった。

(1) 小学校情報授業研修会

- ① 日 時 平成 25 年 11 月 21 日 (木) 13:30~16:25
- ② 場 所 雄郡小学校
- ③ 内 容

学年・組	教科等	単元(題材)名
2年1組	生活科	「もっと なかよし まちたんけん」(どきどきのりもの編)
4年3組	学級活動	「インターネットコミュニケーションで大切なこと」
5年1組	外国語活動	「クイズ大会をしよう」~Lesson7・what's this?~

(2) 中学校授業研究会

- ① 日 時 平成 25 年 11 月 20 日 (水) 13:30~16:20
- ② 場 所 桑原中学校
- ③ 内 容

学年・組	教科等	単元(題材)名
2年3組	数 学	「図形の調べ方『星形の内角の和』」

3 今後の課題

- ICTのさらなる有効活用と指導技術の向上(校内研修の充実)
- 児童生徒の発達段階や、一人ひとりの実態に即した支援の在り方
- 情報モラル及び情報安全教育の強化等のカリキュラムへの位置づけ
- 児童生徒自身が情報社会に主体的に参画する態度の育成
- 各校におけるグループウェアの運用とルールの確立
- ICTを活用した授業研究のさらなる推進(タブレットPCの効果的な活用)
- ウィルス対策への取組
- 小中連携への取組